

## アステラス製薬と Minovia Therapeutics 社 革新的なミトコンドリア細胞医療プログラムの創成に向けた 戦略的提携に関する契約を締結

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、Minovia Therapeutics, Ltd.(本社:イスラエル・ハイファ、CEO: Natalie Yivgi-Ohana、以下「Minovia 社」)と、ミトコンドリア機能不全に起因する疾患を対象とした細胞医療プログラムの創成に向けて、共同研究・開発および商業化に関する全世界における戦略的提携およびライセンスに関する契約を本日締結しました。

今回の戦略的提携により、アステラス製薬と Minovia 社は、他家細胞を用いた革新的なミトコンドリア細胞医療プログラムの創成を加速することを目指します。両社は、アステラスが遺伝子操作を行い作製した独自の多能性幹細胞と、Minovia 社独自の MAT プラットフォーム技術を組み合わせる細胞医療プログラムの研究を行います。このプログラムの目標は、健康なミトコンドリアを輸送して患者さんの組織を修復することにより、ミトコンドリア機能不全に起因する疾患の患者さんを治療することです。

Minovia 社は、ミトコンドリアトランスファーという現象を活用して健康なミトコンドリアを患者の細胞に輸送する、ミトコンドリア細胞医療分野におけるリーディングカンパニーです。Minovia 社は、Mitochondrial Augmentation Therapy (MAT)という独自の技術プラットフォームを持ちます。MAT とは、ミトコンドリア機能不全に陥った患者から取り出した細胞に対して、健康なドナーから分離・濃縮した正常ミトコンドリアを取り込ませて、その患者自身の細胞を再度体内に戻して治療することを目指す技術です。Minovia 社は現在、ミトコンドリア機能不全に起因する疾患における MAT の研究、開発、臨床試験を行っています。

アステラス製薬は、米国子会社の Astellas Institute for Regenerative Medicine (AIRM) や Universal Cells, Inc.を通じて、他家由来の多能性幹細胞ラインから分化した細胞のプログラムを推進しています\*1。今回の Minovia 社との提携は、Mitobridge, Inc.および Nanna Therapeutics Limited の買収に続き、アステラス製薬のミトコンドリアバイオロジーのケイパビリティを強化するものです\*2,3。

Minovia 社の Natalie Yivgi-Ohana, Ph.D.は、「アステラス製薬とのコラボレーションを大変嬉しく光栄に思います。Minovia 社はアステラス製薬と、ミトコンドリアを探求する情熱と、新しい治療法を必要とする患者へのコミットメントを共有しています。Minovia 社は MAT の開発を続けていますが、ミトコンドリア機能不全に起因する疾患をもつ多くの患者のための他家細胞医療プログラムの開発を加速するうえで、今回の戦略的提携は非常に重要であると信じています」と述べています。

アステラス製薬の代表取締役副社長 経営戦略・財務担当の岡村直樹は、「アステラス製薬では、ミトコンドリアバイオロジーを研究開発戦略上の Primary Focus の一つに位置づけしており、ミトコンドリア細胞医療プラットフォームの構築は目標の一つです。Minovia 社は、健康なミトコンドリアの患者細胞への輸送に関わる独自の技術を持ち、この領域を牽引する企業です。今回の Minovia 社との戦略的提携により、パイプラインがより充実し、ミトコンドリア機能不全に起因する疾患の治療における選択肢をさらに広げることができるものと期待しています」と述べています。

本契約に基づき、アステラス製薬は、契約一時金として 2,000 万米ドルを Minovia 社に支払います。さらにアステラス製薬は、将来の前臨床および臨床開発、商業化の進捗に応じたマイルストーンとして製品ごとに 4 億 2,000 万米ドルを支払う可能性があります。

なお、本件によるアステラス製薬の通期(2022 年 3 月期)連結業績への影響は軽微です。

以上

\*1: R&D ミーティング [2020 年 12 月 10 日] [https://sw4503.swcms.net/ja/ir-library/ir-meetings/inframe/main/014/teaserItems1/07/linkList/0/link/RDmeeting2020\\_pre\\_ip.pdf](https://sw4503.swcms.net/ja/ir-library/ir-meetings/inframe/main/014/teaserItems1/07/linkList/0/link/RDmeeting2020_pre_ip.pdf)

\*2: コーポレートサイト「マイトブリッジを完全子会社にした意義」  
<https://www.astellas.com/jp/ja/stories/science/mitobridge>

\*3: コーポレートサイト「Primary Focus - ミトコンドリアバイオロジー」  
<https://www.astellas.com/jp/ja/partnering/primary-focus#Mitochondria-Biology>

#### **Minovia Therapeutics, Ltd.について**

Minovia Therapeutics, Ltd.社は、Mitochondrial Augmentation Therapy (MAT)という独自の技術プラットフォームを活用し、ミトコンドリア病の患者さんに人生を変える治療法をもたらすことを期待して、初のミトコンドリア細胞医療というアプローチをとる企業です。Minovia 社は、将来的にミトコンドリア病の一次療法および二次療法となることを目指した、MAT を活用した臨床開発段階の自家細胞医療プログラムを有します。Minovia 社の詳細については、(<https://www.minoviatx.com>)をご覧ください。

### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

### お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社  
コーポレート・アドボカシー&リレーション部  
TEL: 03-3244-3201